

中小企業景況調査報告書

(第 115回)

平成21年 7 ~ 9 月期 実 績
平成21年 10 ~ 12 月期 見通し

平成21年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成21年9月
- (2) 調査対象期間 平成21年7～9月期実績及び平成21年10～12月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	58	45	67	60	273
中規模	17	13	25	16	32	103
合計	60	71	70	83	92	376
構成比(%)	16.0	18.9	18.6	22.1	24.5	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業15社、建設業14社、卸売業8社、
小売業16社、サービス業32社、合計85社

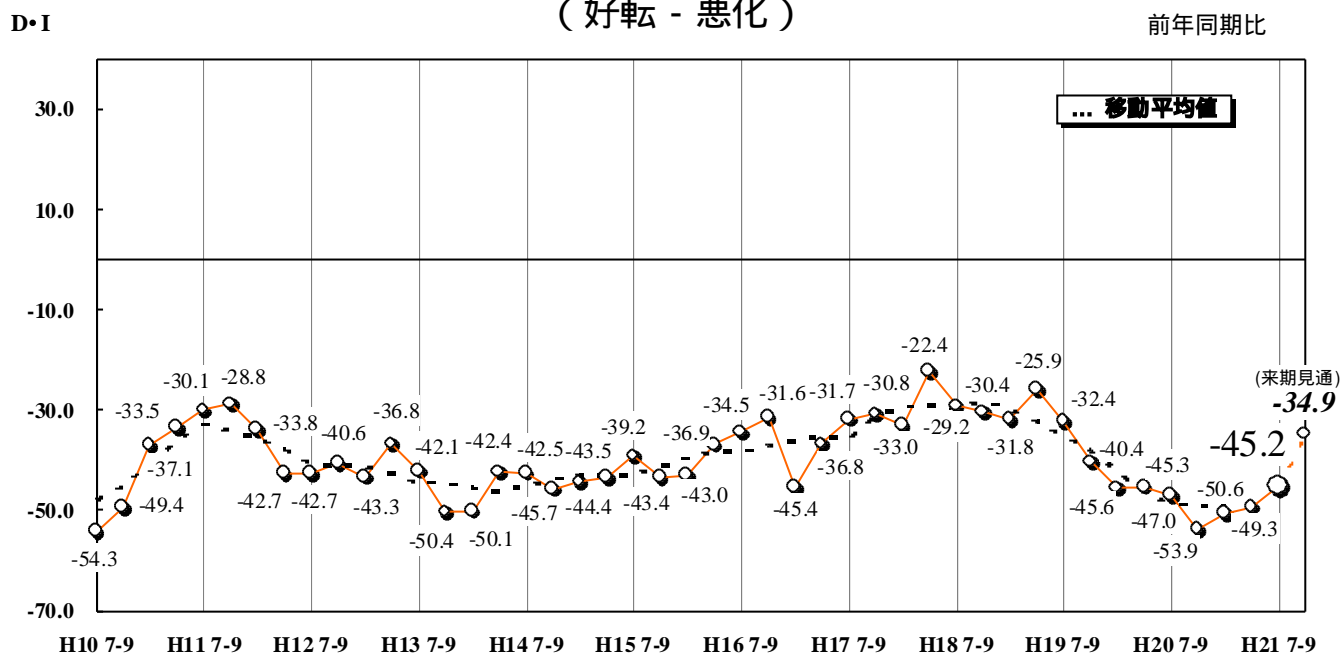
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 3期連続でマイナスD・I値を縮小 -

業況推移（全業種平均D・I） （好転 - 悪化）



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（7月～9月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成20年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 45.2と、前期比（平成21年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 31.1、マイナス幅が縮小した。

前回の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 49.3 今回 45.2、前期比では前回 31.9 今回 31.1と 共にマイナス幅を縮小するという結果となった。

業種別では、前年同期比で製造 47.4、建設 31.0、卸売 47.9、小売 48.2、サービス 51.6となり、建設業・卸売業・小売業でマイナス幅が縮小しているのに対し、製造業・サービス業でマイナス幅が拡大した。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 50.3（前回調査 56.3）、札幌以外の地域 39.8（前回調査 40.9）となっており、共にマイナス幅を縮小するという結果となった。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成20年10月～12月期の水準と比較した来期の見通し）では 34.9と、業況は更に改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業46.3%、建設業49.2%、卸売業62.4%、小売業33.9%、サービス業37.4%）が大きな要因となっている他、製造業では「製品ニーズの変化への対応」（12.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（35.2%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（12.1%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（17.5%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」「利用料金の低下・上昇難」（11.8%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で11.5%と、前回調査時（13.9%）より2.4%下降しており、更に来期新規設備を投入する予定と回答した企業は全業種平均で6.4%と、依然慎重な動きとなっている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 47.4（来期見通し 30.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、前回 37.2 今回 47.4と10.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、製品単価の低下・上昇難による売上の減少や、受注の減少による余剰人員の削減等の声もあった。

〔主なコメント〕

- ・原材料価格の上昇と需要停滞による単価の低下・上昇難により業況は悪化した。（菓子製造業）
- ・原油価格の低下により原材料費は下がったが、取引先より価格引き下げの要望があり、売上減少となった。（化学製品製造業）
- ・過去にない程の受注減、売上が10%減となった。（紙・パルプ製造業）
- ・受注不足により余剰人員が発生。派遣職員の削減等も実施し対応している。（金属製品製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 31.0（来期見通し 30.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、前回 54.4 今回 31.0と23.4ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、補正予算による工事の増加により、一部上向きとの声もあるが、住宅の新築工事は依然少なく厳しい状況と回答する企業の声が多い。

〔主なコメント〕

- ・工事自体は増えているが受注競争が厳しく、仕事が増えても赤字になってしまう。（建設業）
- ・補正予算による工事の増加により、一時的に上向き感もあるが、基本となる住宅着工は依然低調にある。（建設業）
- ・住宅新築工事はおろかりフォーム工事の確保も非常に厳しい。（建設業）
- ・政権交代後の公共工事の見直しにより、今後益々厳しい状況になるのではないかと不安がある。（建設業）

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 47.9（来期見通 28.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、前回 50.0 今回 47.9と2.1ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、消費人口の減少による需要の停滞ため、業況の悪化を訴えるのが多かった。

〔主なコメント〕

- ・地域の人口減少により、消費の冷え込みが激しい。（卸売業）
- ・気象変動による野菜等の生育不良・価格高騰により受注減となっている。（卸売業）
- ・商品の販売数は増えたものの、高額商品は売れず利益の上昇につながりにくい状況となっている。（卸売業）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 48.2（来期見通 42.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、前回 57.2 今回 48.2と9.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然大型店進出による競争の激化を訴える声が多い他、夏の天候不良や個人消費の低迷などによる売上の減少を訴える声が目立った。

〔主なコメント〕

- ・売上は下げ止まったものの、依然として低水準で推移している。プレミアム商品券の発行も起爆剤とはならなかった。（小売業）
- ・大型店の進出による競争の激化により、安い商品しか売れないため売上は減少している。
(小売業)
- ・冷夏のため、花火やアイスクリーム等の季節商品が伸びなかった。（コンビニ）
- ・生鮮を除く食料品の売価が下がっているものの、消費は相変わらず鈍化したままの状況。
(スーパー)

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 51.6（来期見通 43.3）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年4月～6月期）時点からの推移では、前回 49.4 今回 51.6と2.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、インフルエンザの影響で需要の停滞による採算・業況悪化を訴える声があった一方で、ETC割引やシルバーウィークの恩恵により、売上が増加したとこの企業の声もみられた。

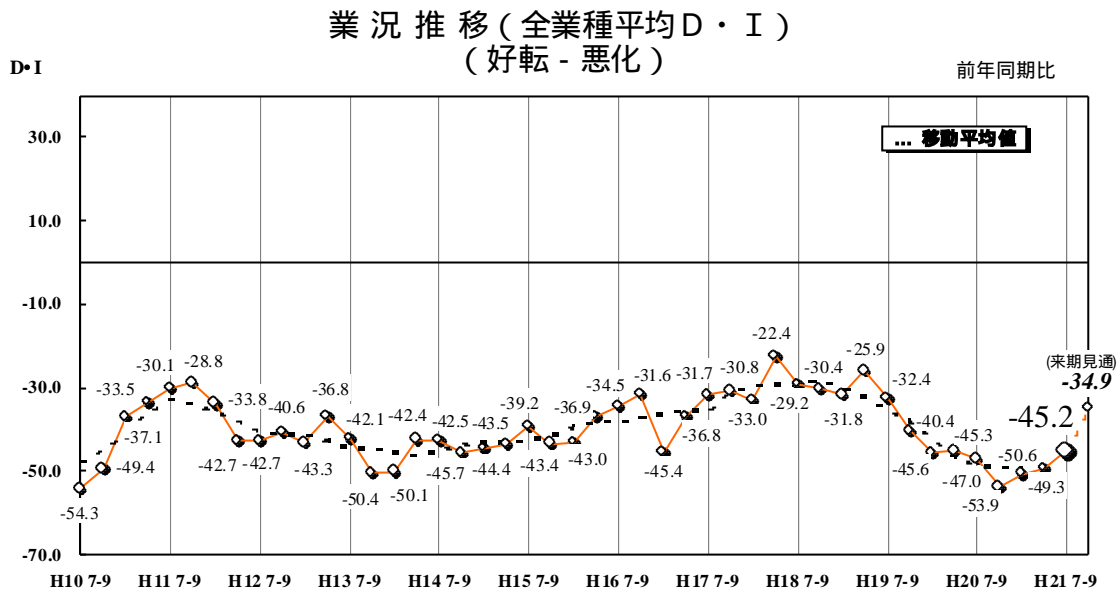
〔主なコメント〕

- ・シルバーウィークのおかげで、宿泊利用客が増え業況は安定している。（宿泊業）
- ・ETC割引とシルバーウィークの相乗効果により、多くの観光客が訪れ、ゴールデンウィーク時より売上が上がった。（サービス業）
- ・インフルエンザの影響により、観光客が減少しており、売上が低迷している。（レンタカー）
- ・事業資金の借入難により資金繰りは悪化しており、人件費の削減で対応したが、依然売上は低調により厳しい状況。（宿泊業）
- ・天候不順の影響で、前年より売上が伸びているが、冬場に向けて燃料価格の動向に予断を許さない状況。（クリーニング）
- ・事業所数の減少や消費動向の落ち込みにより、収益率が低下している。（廃棄物処理業）

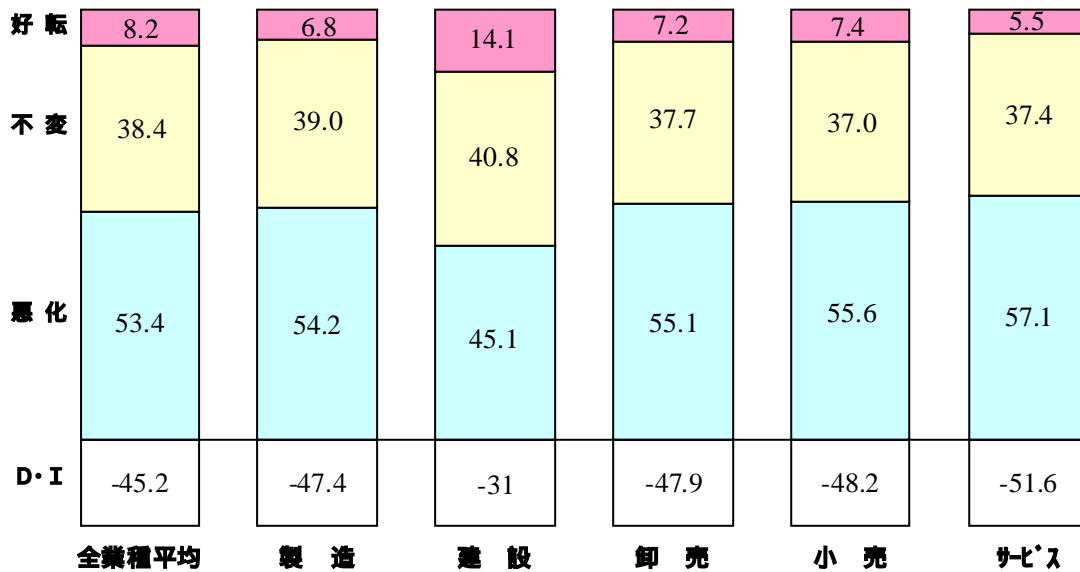
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

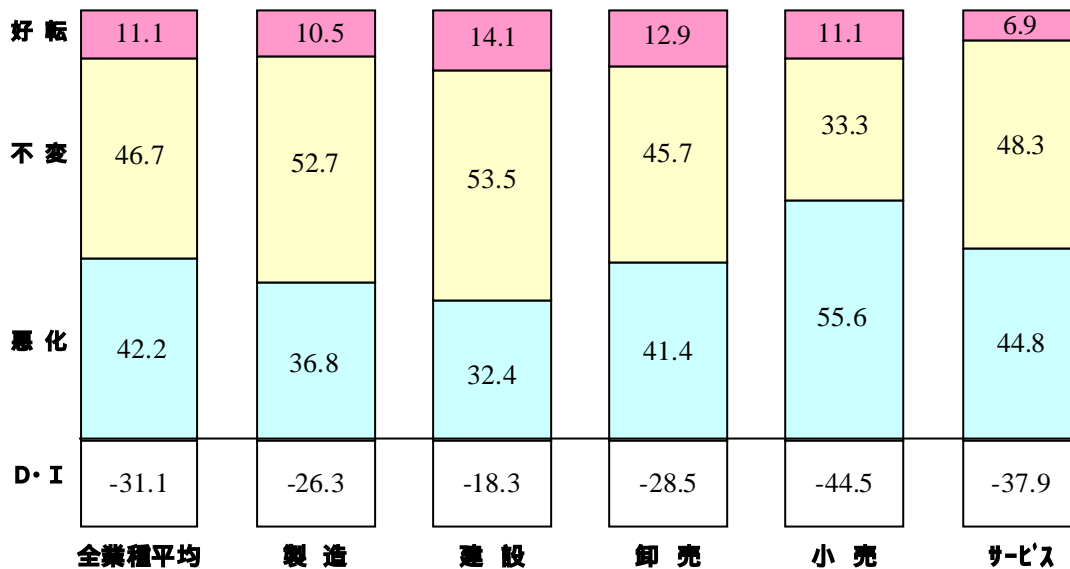


全業種平均でD・I値 **45.2**〔前回調査時（平成21年4～6月期 49.3）より4.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.2 47.4〕、建設〔前回 52.9 31.0〕
卸売〔前回 50.0 47.9〕、小売〔前回 57.2 48.2〕
サービス〔前回 49.4 51.6〕

【前期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

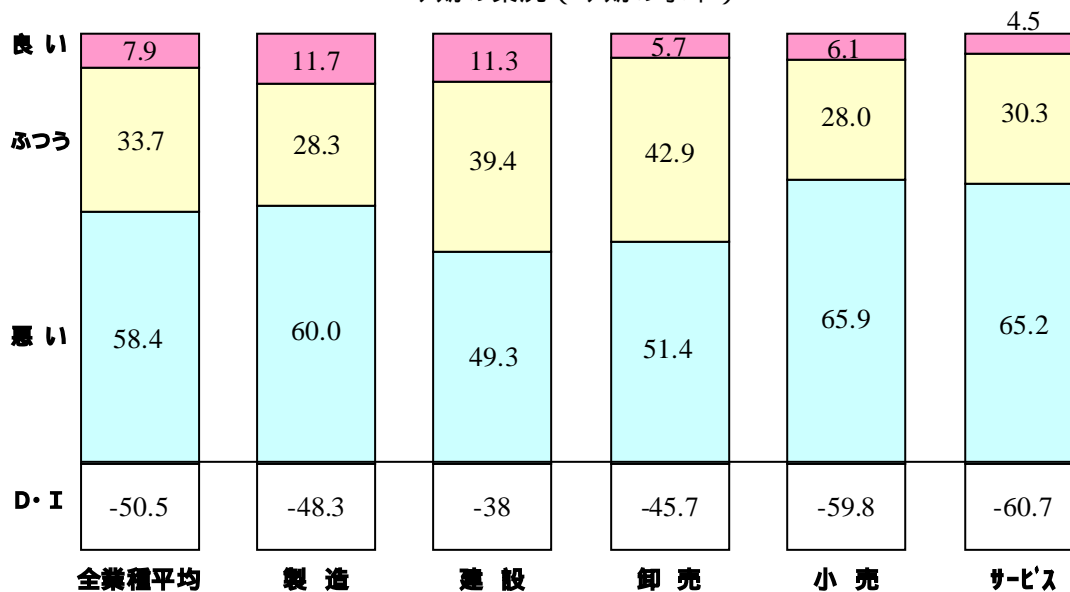


全業種平均でD・I値 31.1〔前回調査時（平成21年4～6月期 31.9）より0.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.0 26.3〕、建設〔前回 27.6 18.3〕
卸売〔前回 34.3 28.5〕、小売〔前回 37.5 44.5〕
サービス〔前回 28.8 37.9〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）

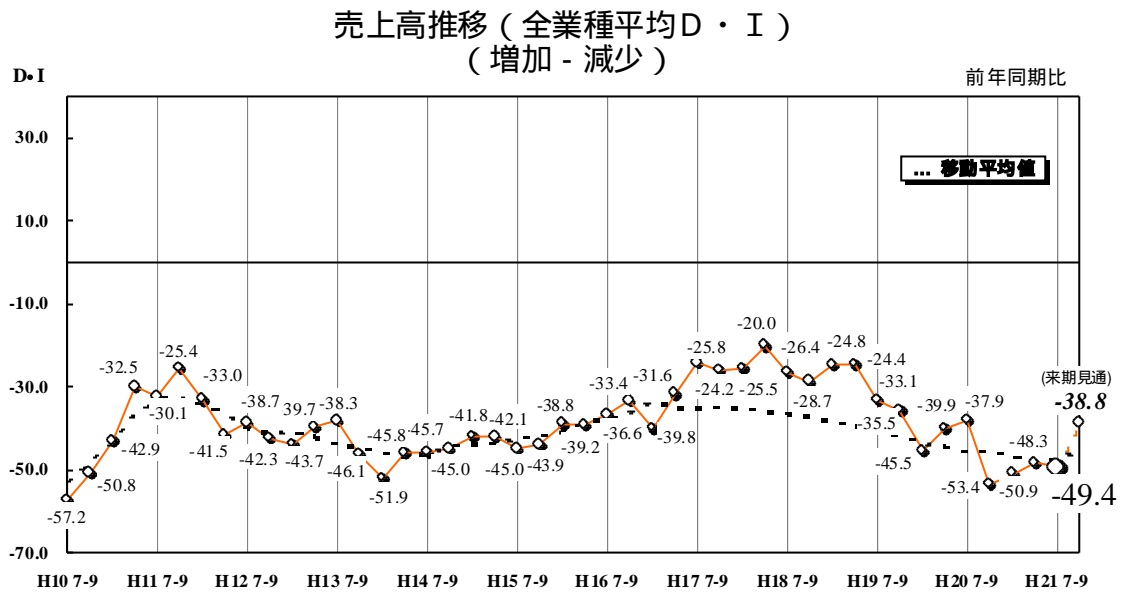


全業種平均でD・I値 50.5〔前回調査時（平成21年4～6月期 53.5）より3.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

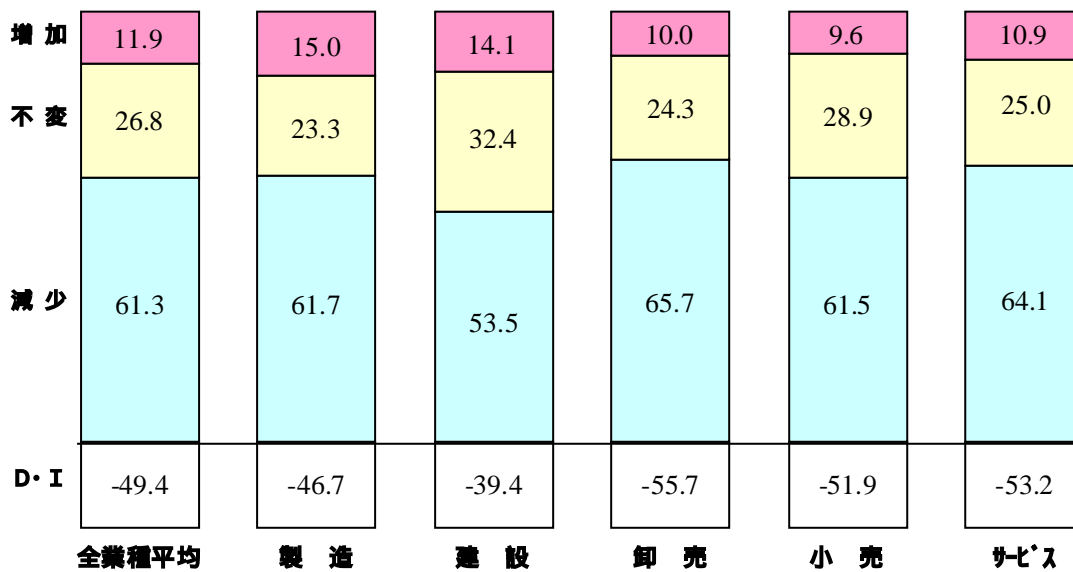
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 47.4 48.3〕、建設〔前回 60.9 38.0〕
卸売〔前回 51.4 45.7〕、小売〔前回 58.2 59.8〕
サービス〔前回 49.4 60.7〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



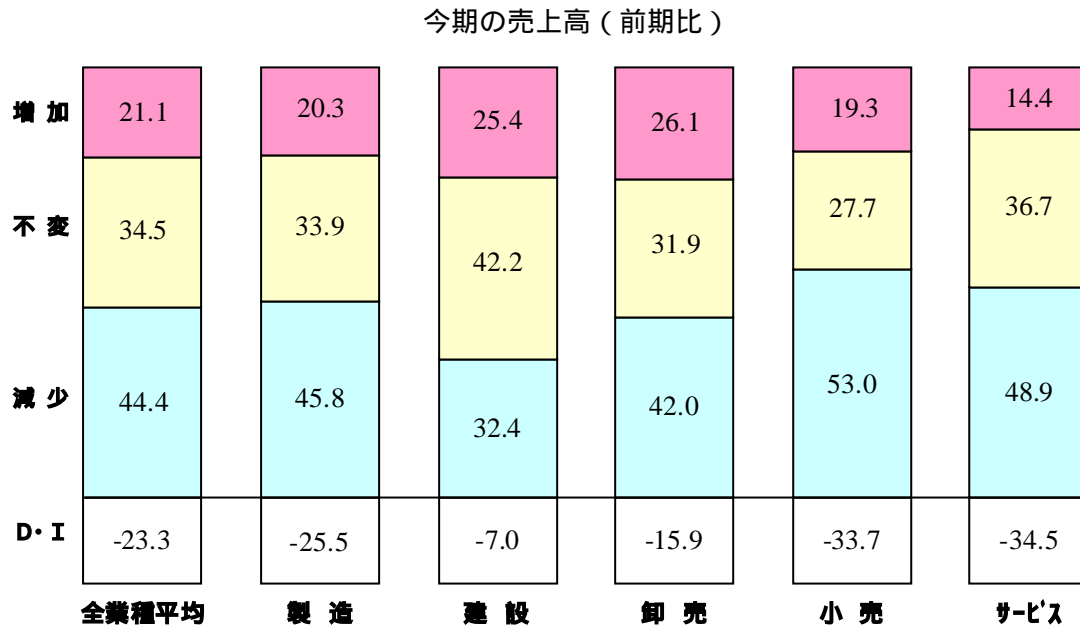
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **49.4**〔前回調査時（平成21年4～6月期 48.3）より1.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 32.3 46.7〕、建設〔前回 51.4 39.4〕
卸売〔前回 55.7 55.7〕、小売〔前回 60.5 51.9〕
サービス〔前回 41.7 53.2〕

【前期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

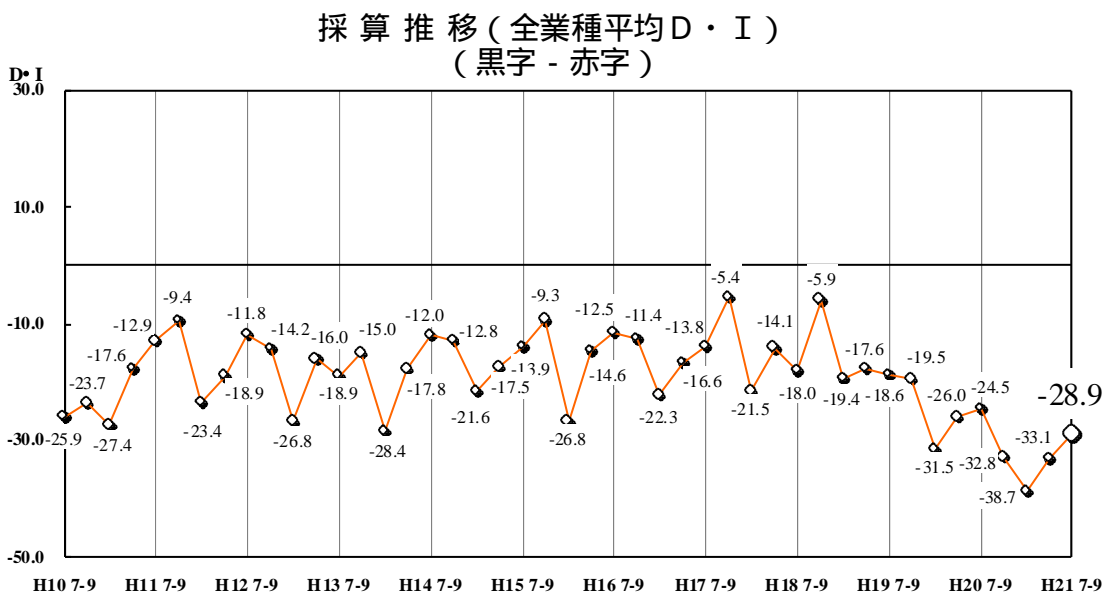


全業種平均でD・I値 **23.3**〔前回調査時（平成21年4～6月期 14.2）より9.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

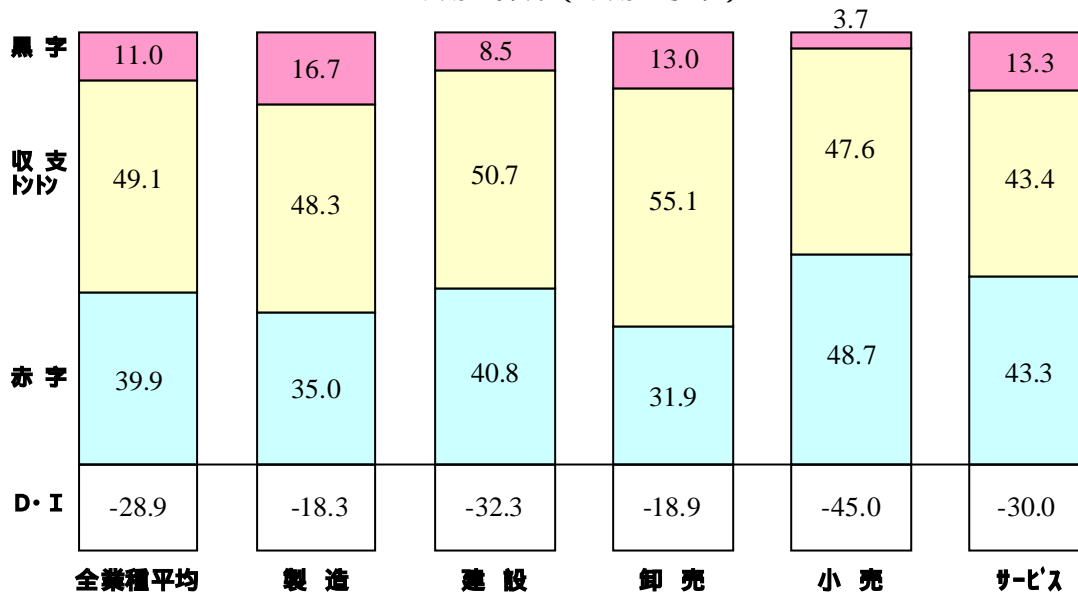
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.2 25.5〕、建設〔前回 23.5 7.0〕
 卸売〔前回 10.0 15.9〕、小売〔前回 15.1 33.7〕
 サービス〔前回 17.5 34.5〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

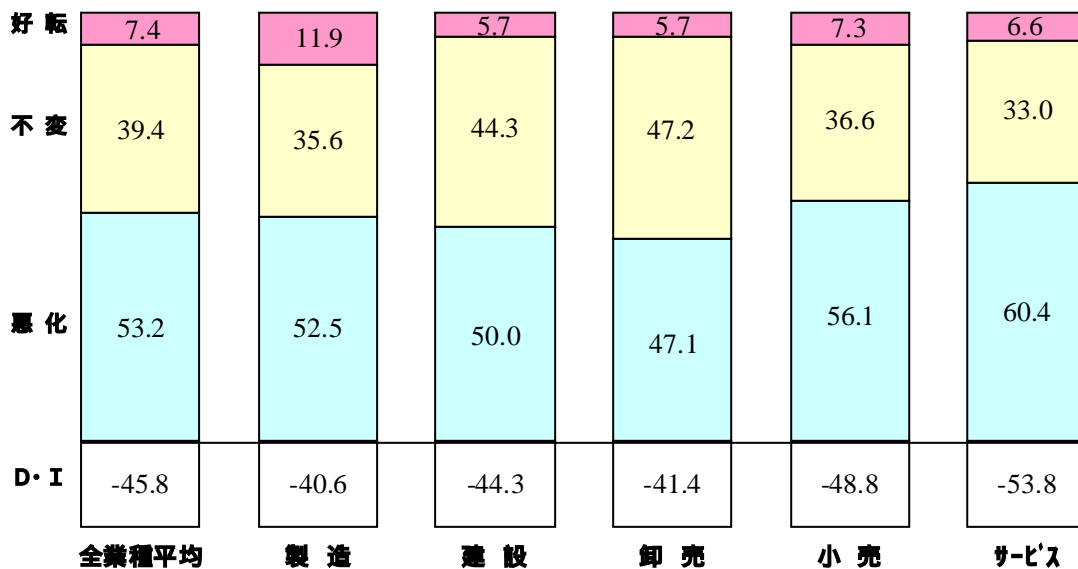


全業種平均でD・I値 **28.9**〔前回調査時（平成21年4～6月期 33.1）より4.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.3 18.3〕、建設〔前回 37.7 32.3〕
卸売〔前回 25.0 18.9〕、小売〔前回 44.6 45.0〕
サービス〔前回 29.3 30.0〕

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

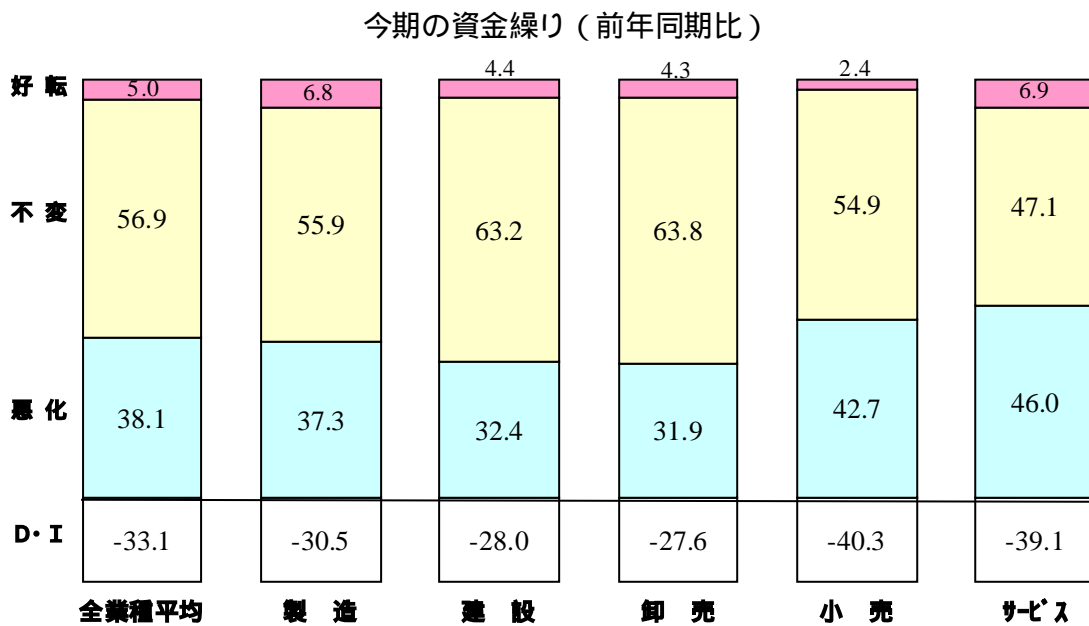
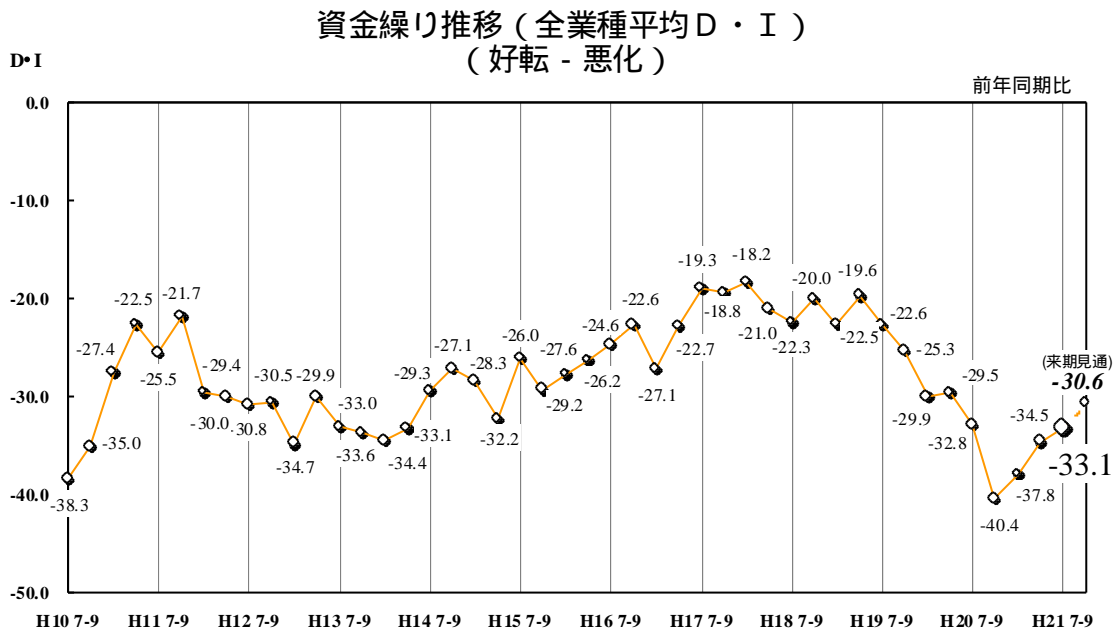


全業種平均でD・I値 **45.8**〔前回調査時（平成21年4～6月期 52.4）より6.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.3 40.6〕、建設〔前回 62.9 44.3〕
卸売〔前回 55.2 41.4〕、小売〔前回 51.7 48.8〕
サービス〔前回 49.5 53.8〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



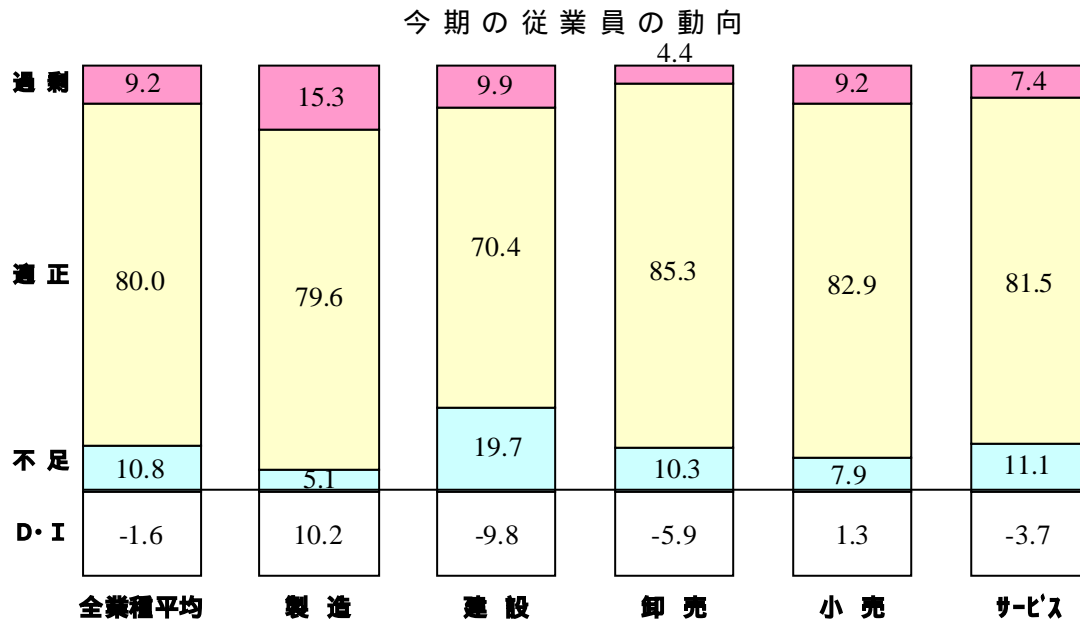
全業種平均でD・I値 33.1〔前回調査時（平成21年4～6月期 34.5）より1.4ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が若干縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 30.5 30.5〕、建設〔前回 35.8 28.0〕
卸売〔前回 32.8 27.6〕、小売〔前回 36.9 40.3〕
サービス〔前回 36.5 39.1〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(46.3%)	[前回 45.2%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(12.5%)	[前回 7.5%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(8.9%)	[前回 17.0%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(35.2%)	[前回 29.4%]
	「民間需要の停滞」	(27.5%)	[前回 29.4%]
	「官公需要の停滞」	(21.7%)	[前回 20.6%]
卸売業	「需要の停滞」	(62.4%)	[前回 66.9%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(12.1%)	[前回 7.6%]
小売業	「需要の停滞」	(33.9%)	[前回 41.0%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(17.5%)	[前回 14.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(8.8%)	[前回 15.7%]
サービス業	「需要の停滞」	(37.4%)	[前回 49.8%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(11.8%)	[前回 12.8%]
	「利用料金の低下・上昇難」	(11.8%)	[前回 4.7%]

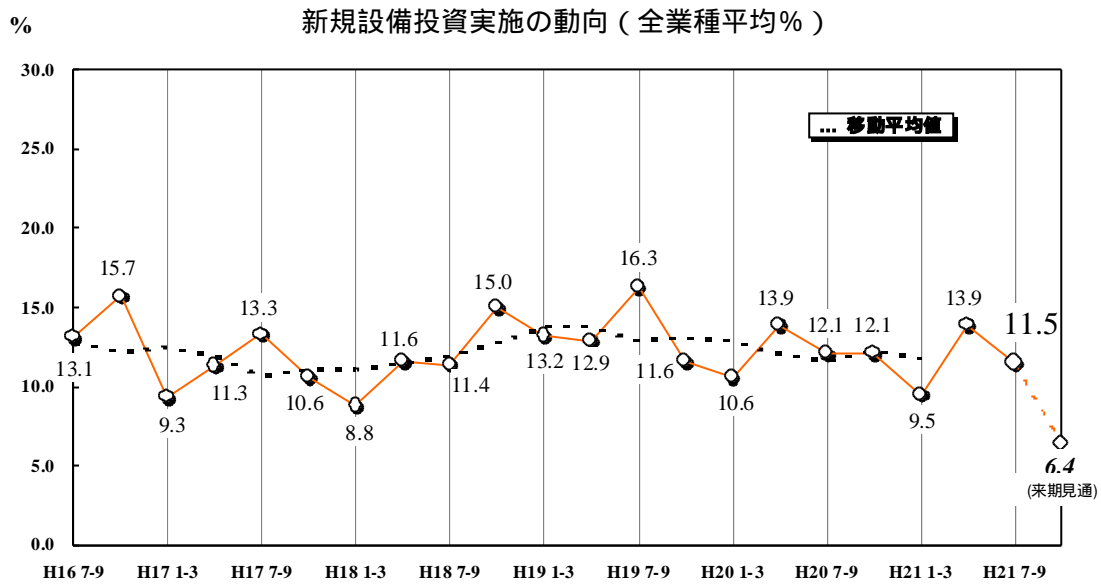
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.6〔前回調査時（平成21年4～6月期3.5）〕と、前回調査時に比べ「不足」と回答する企業が増加しているが、依然「適正」（80.0%）とする企業が大勢を占めている。

- [業種別D・I値] 製造〔前回7.0 10.2〕（適正79.6%）
 建設〔前回8.9 9.8〕（適正70.4%）
 卸売〔前回 1.6 5.9〕（適正85.3%）
 小売〔前回5.4 1.3〕（適正82.9%）
 サービス〔前回 2.5 3.7〕（適正81.5%）

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	16.7	9.9	8.5	6.1	16.5	11.5
土地	10.0	0.0	0.0	10.0	6.7	5.3
工場建物、建物、店舗	10.0	14.3	0.0	40.0	20.0	16.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	60.0	0.0	0.0	20.0	26.7	21.3
車両運搬具	10.0	57.1	16.7	20.0	13.3	23.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	8.0
OA機器	20.0	28.6	83.3	40.0	40.0	42.4
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	1.3
実施していない	83.3	90.1	91.5	93.9	83.5	88.5

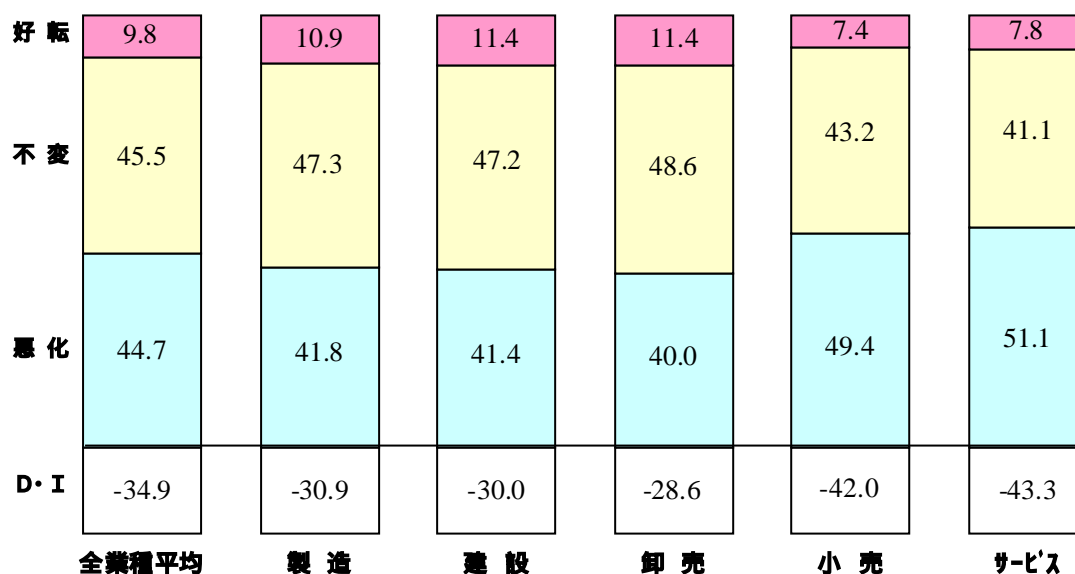
新たに設備投資を実施した企業は平均で**11.5%**〔前回調査時（平成21年4～6月期13.9%）〕、業種別では製造〔前回16.9% 16.7%〕、建設〔前回12.9% 9.9%〕、卸売〔前回8.6% 8.5%〕、小売〔前回11.9% 6.1%〕、サービス〔前回19.1% 16.5%〕と、製造業とサービス業ではほぼ横ばい、建設業と小売業、サービス業については前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

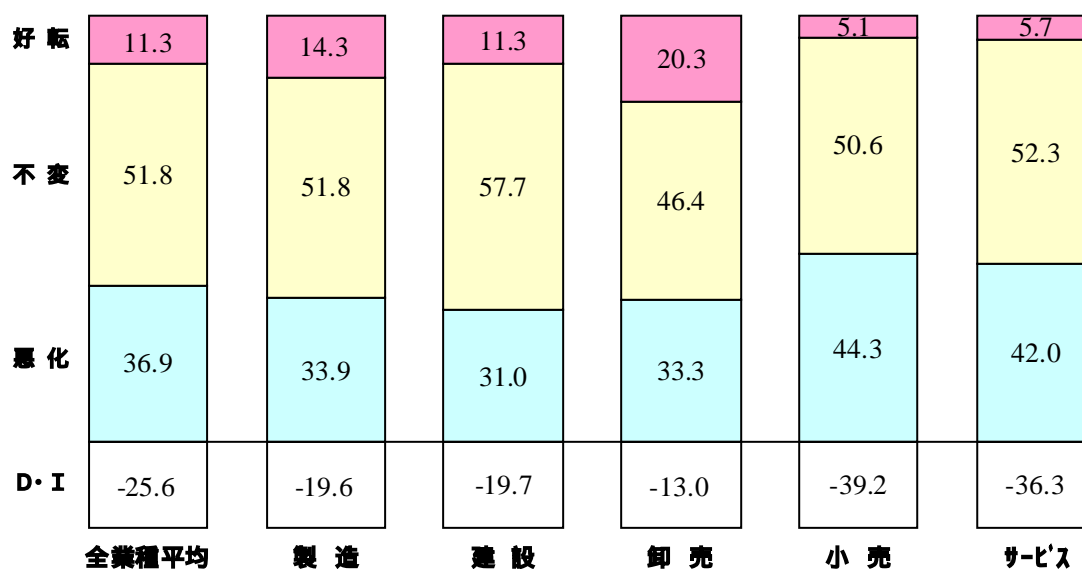
来期の業況見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **34.9**〔今期の業況（前年同期比 45.2）より10.3ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

【今期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

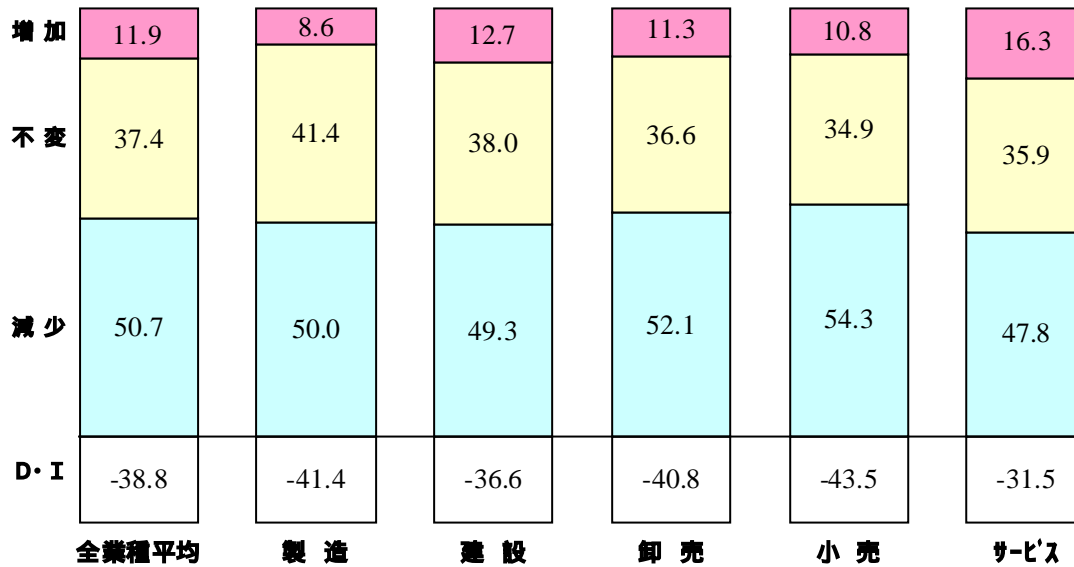
来期の業況見通し（今期比）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

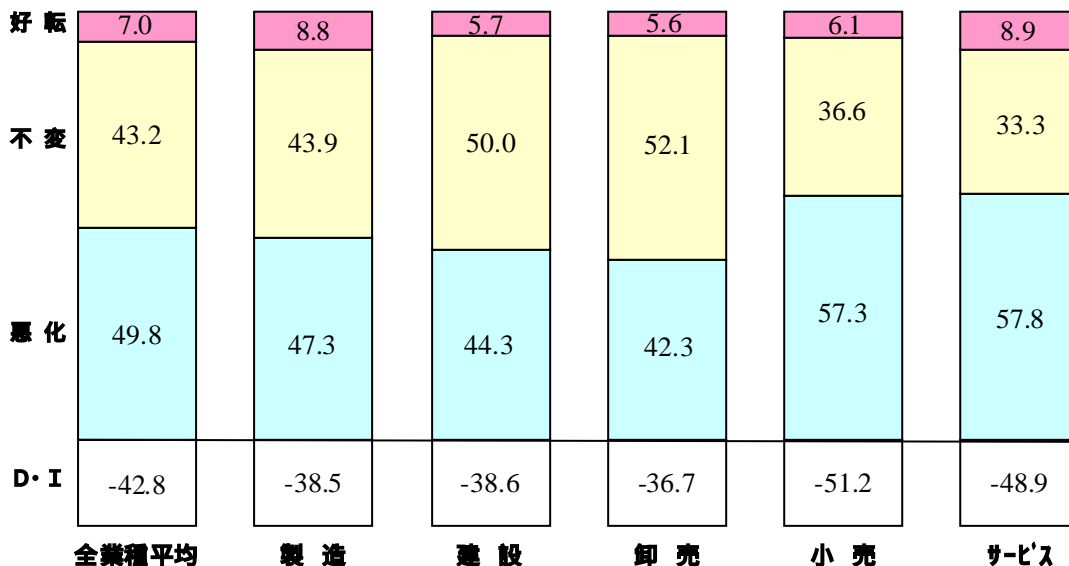


全業種平均でD・I値 **38.8**〔今期の売上高（前年同期比 49.4）より10.6ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **42.8**〔今期の採算（前年同期比 28.9）より13.9ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

(単位%)

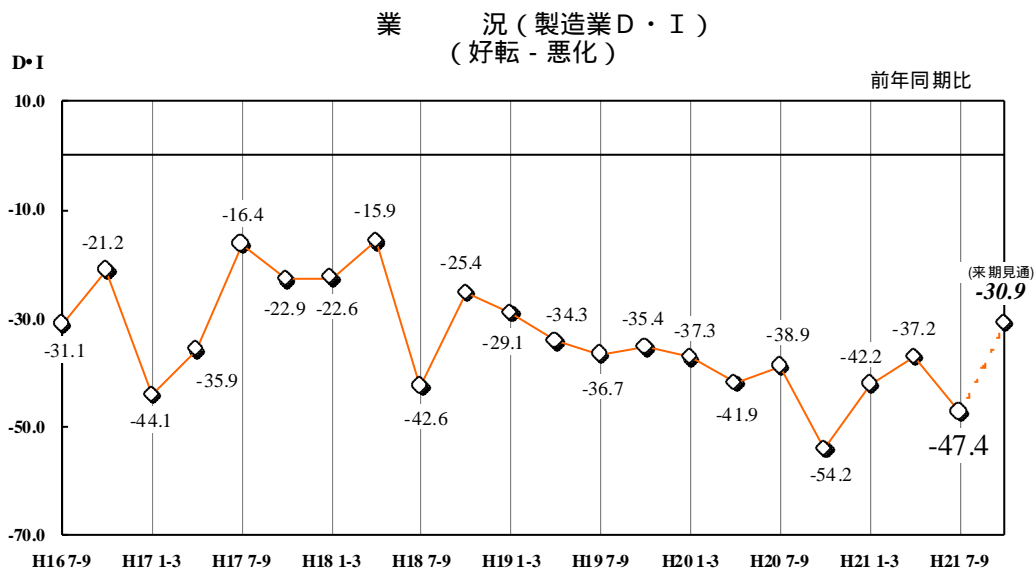
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	6.7	4.3	11.3	7.3	2.2	6.4
土地	25.0	0.0	25.0	16.7	0.0	13.3
工場建物、建物、店舗	0.0	33.3	12.5	33.3	0.0	15.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	75.0	0.0	0.0	16.7	50.0	28.3
車両運搬具	0.0	66.7	50.0	33.3	50.0	40.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	0.0	12.5	33.3	0.0	9.2
OA機器	25.0	0.0	50.0	16.7	0.0	18.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	25.0	0.0	12.5	0.0	50.0	17.5
実施しない	93.3	95.7	88.7	92.7	97.8	93.6

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**6.4%**となっており、今期(11.5%)を下回る見通し。

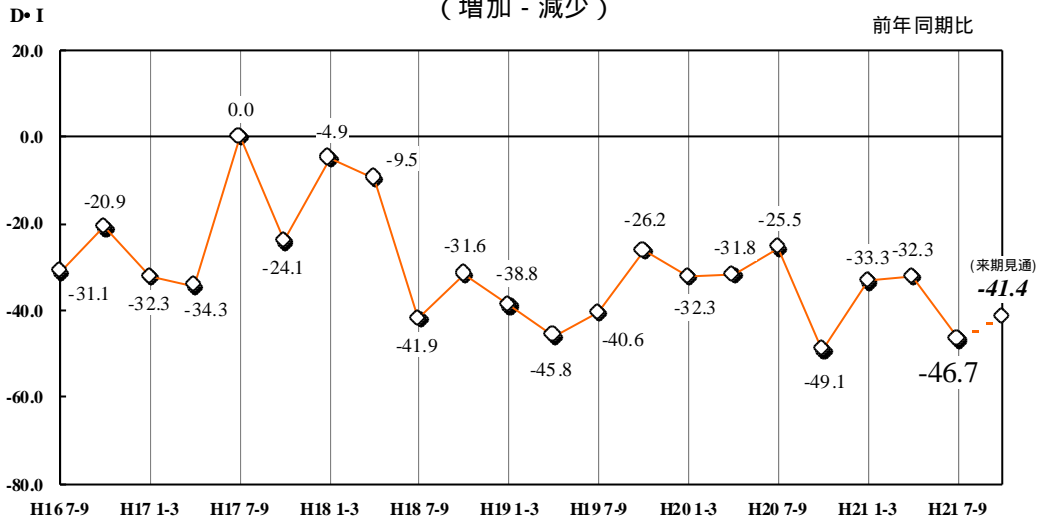
業種別では、製造〔今期16.7% 6.7%〕、建設〔今期9.9% 4.3%〕、卸売〔今期8.5% 11.3%〕、小売〔今期6.1% 7.3%〕、サービス〔今期16.5% 2.2%〕となっている。

業種別の動向

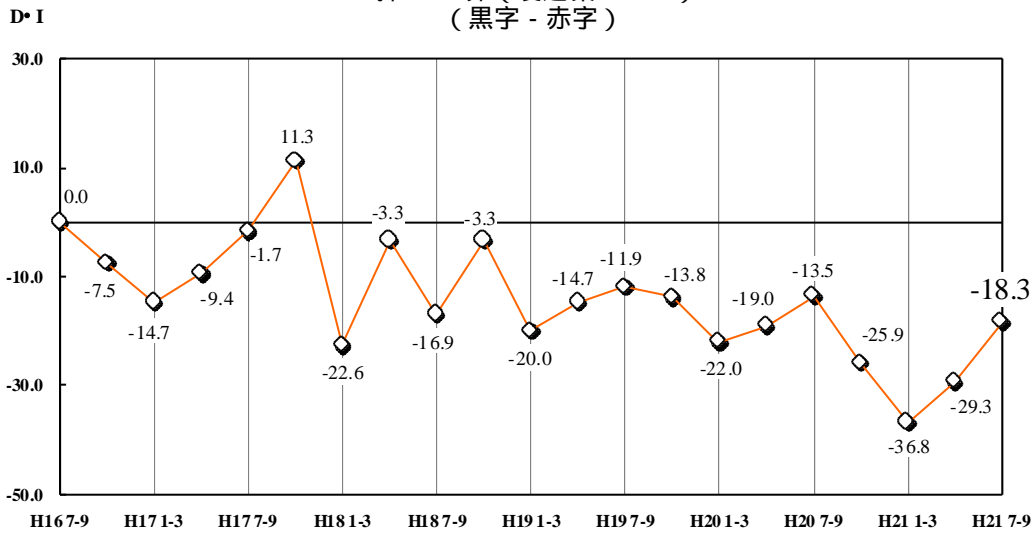
(1) 製造業



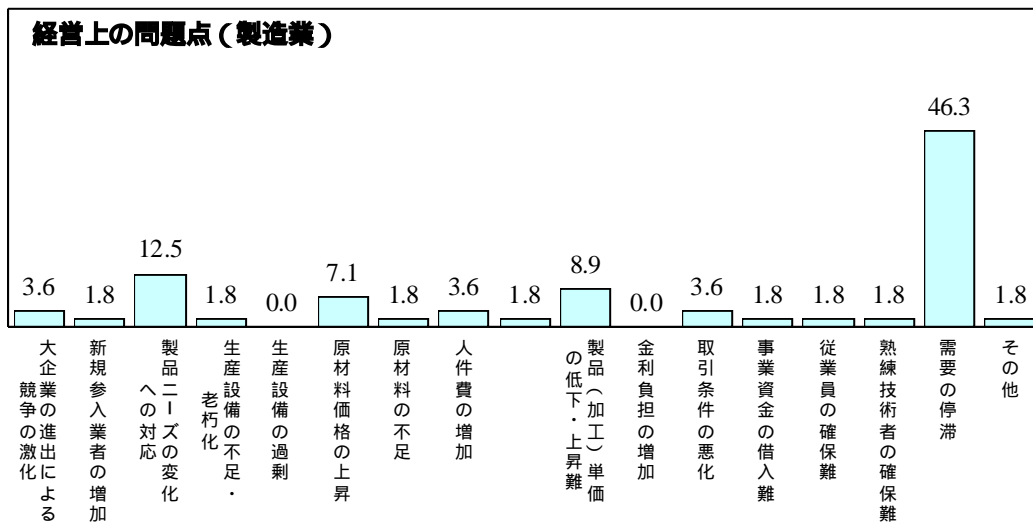
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



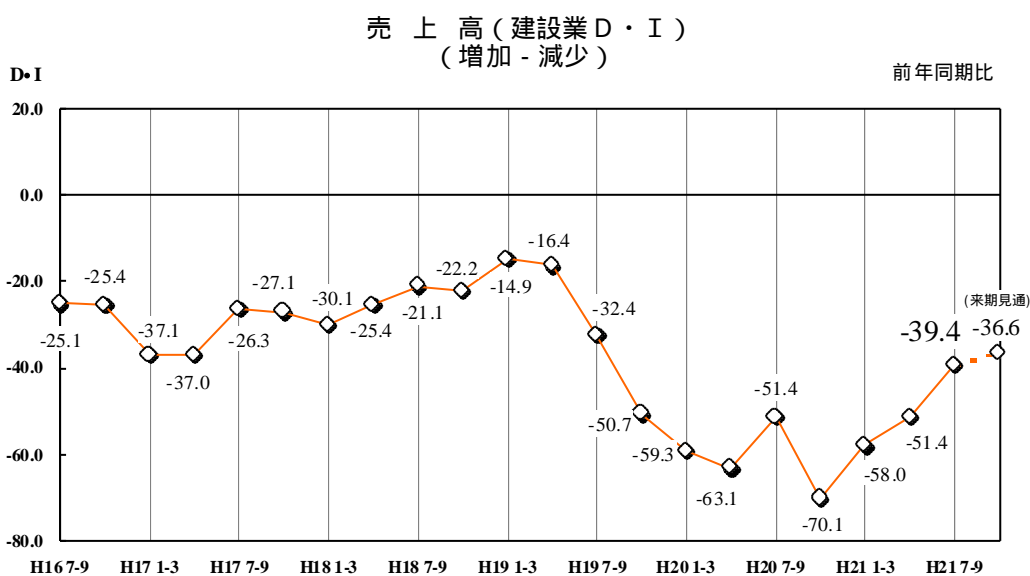
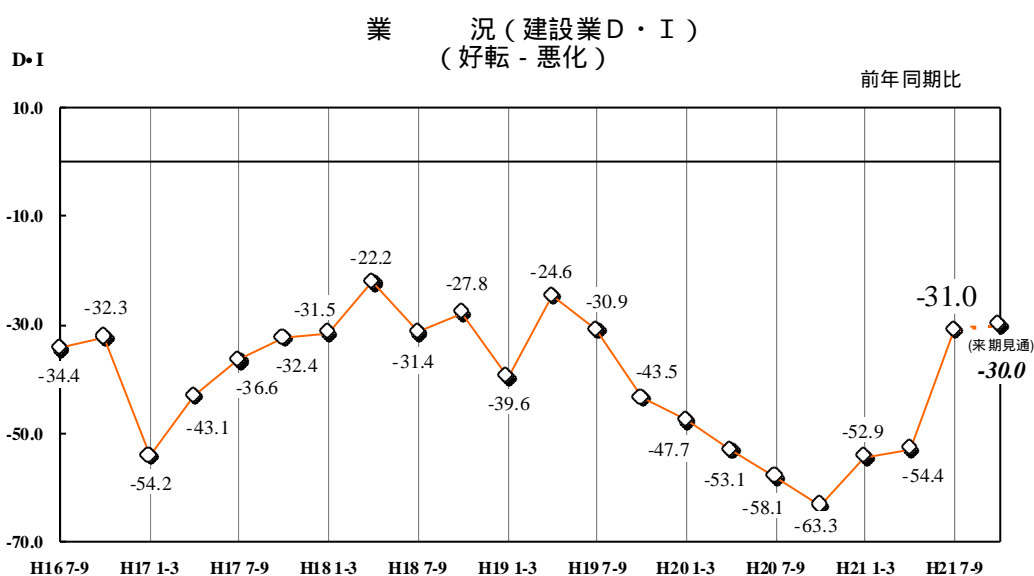
経営上の問題点



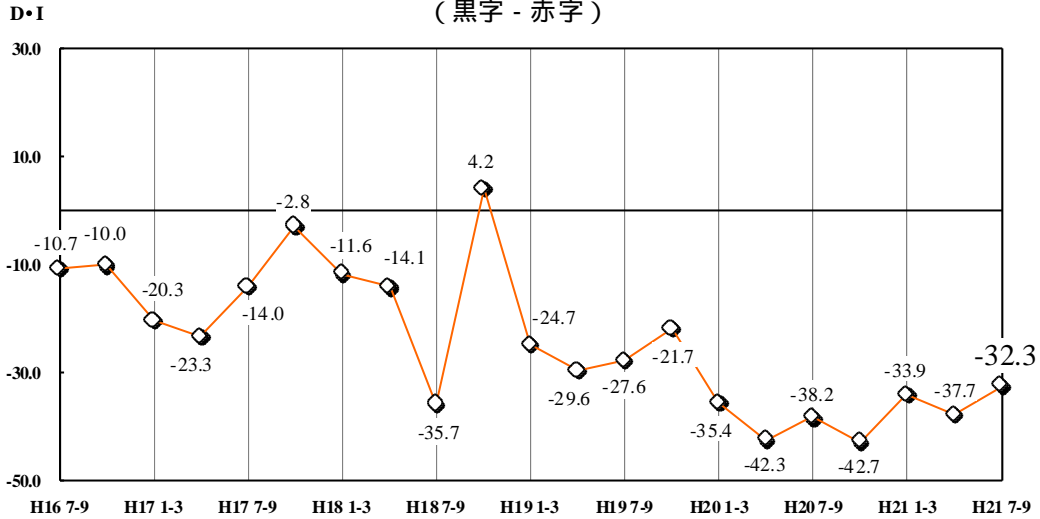
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	30.5	23.7	32.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	2.8	3.6 (今期比)
短期 〃	-----	0.0	0.0 (今期比)
設 備 操 業 率	38.0	-----	37.5 (前年同期比)

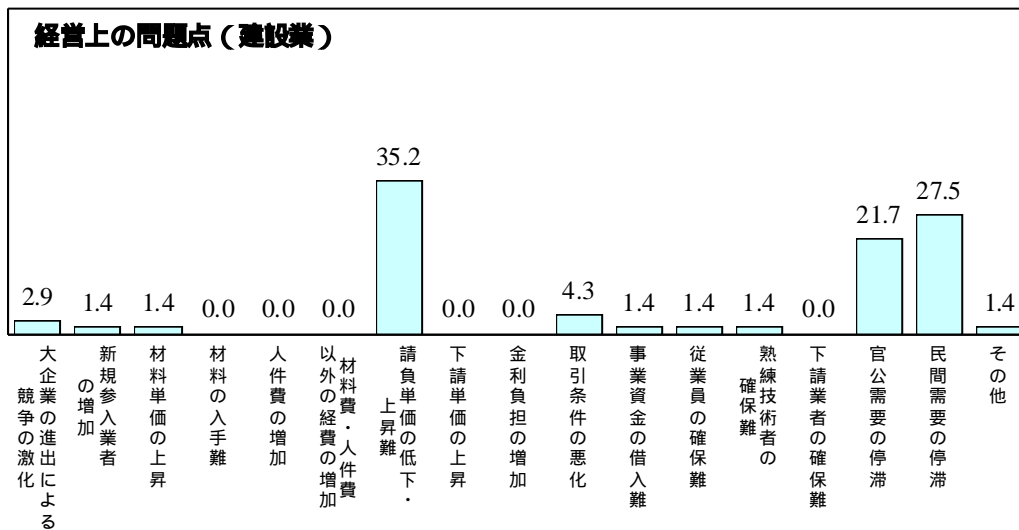
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



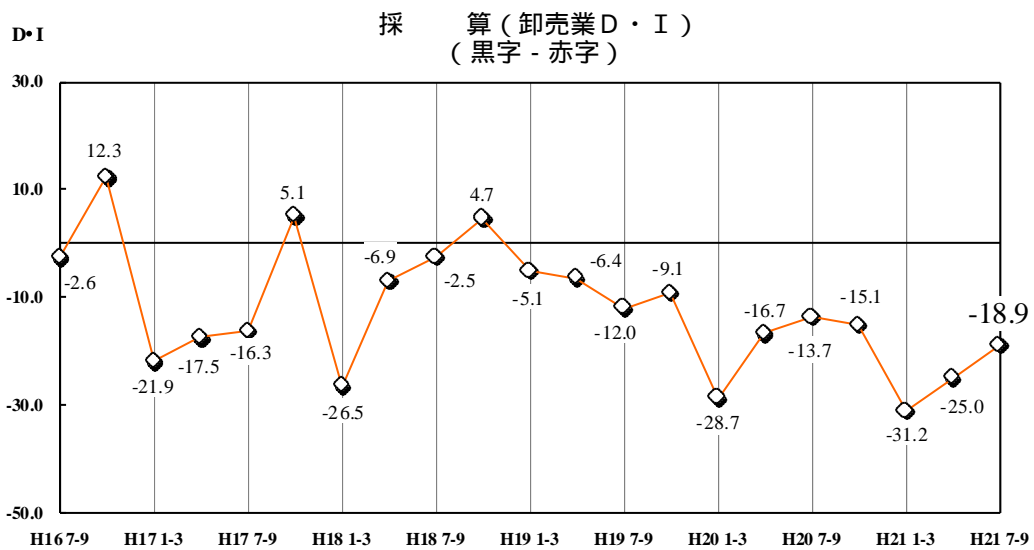
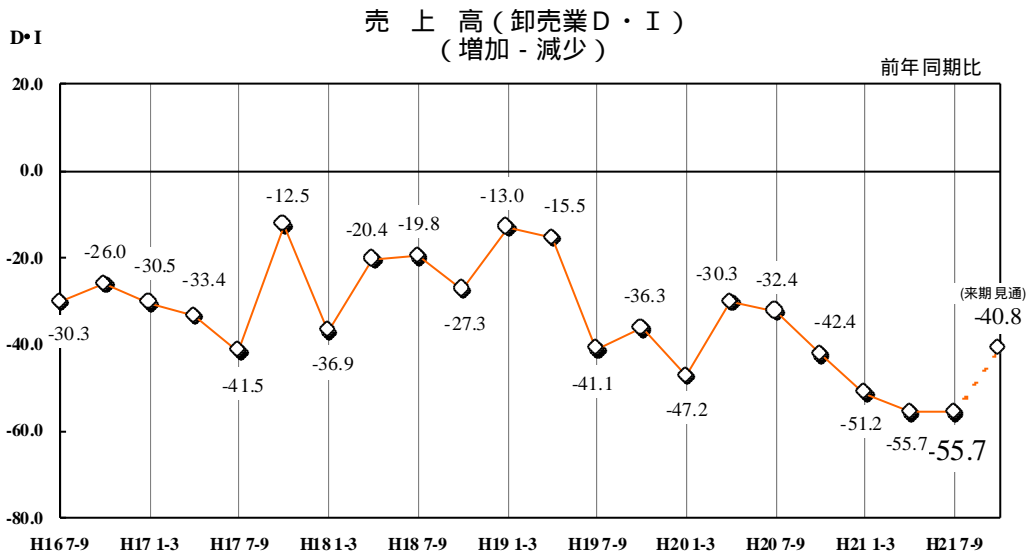
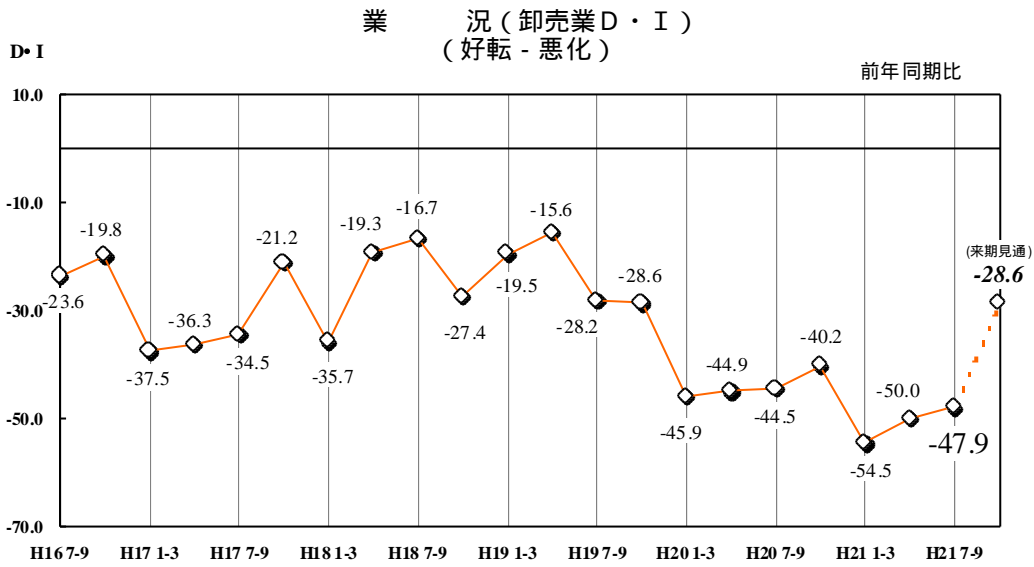
経営上の問題点



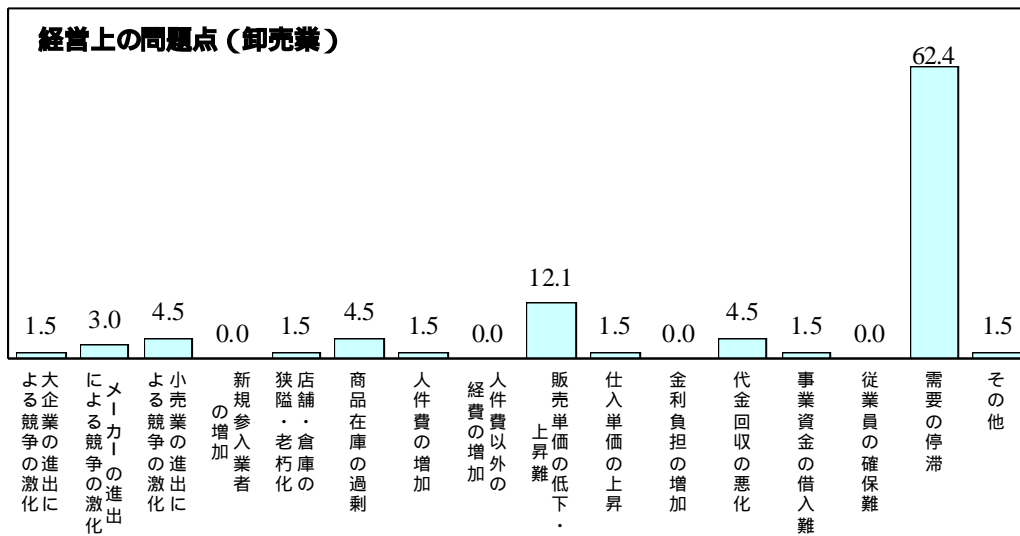
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.0	20.3	21.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	17.2	15.6 (今期比)
短期 "	-----	10.0	11.7 (今期比)
受注(新規契約工事)額	25.7	-----	27.1 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



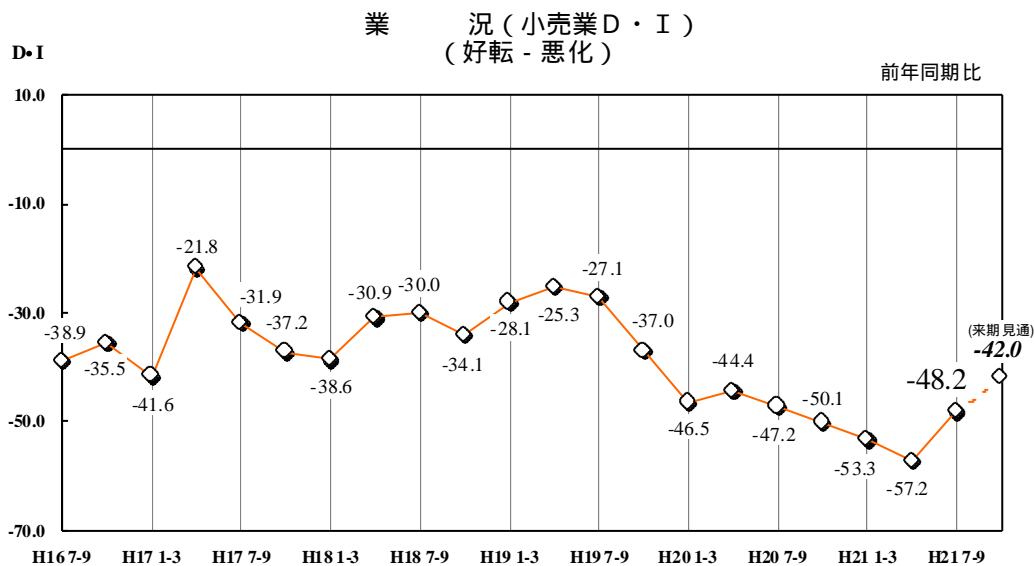
経営上の問題点



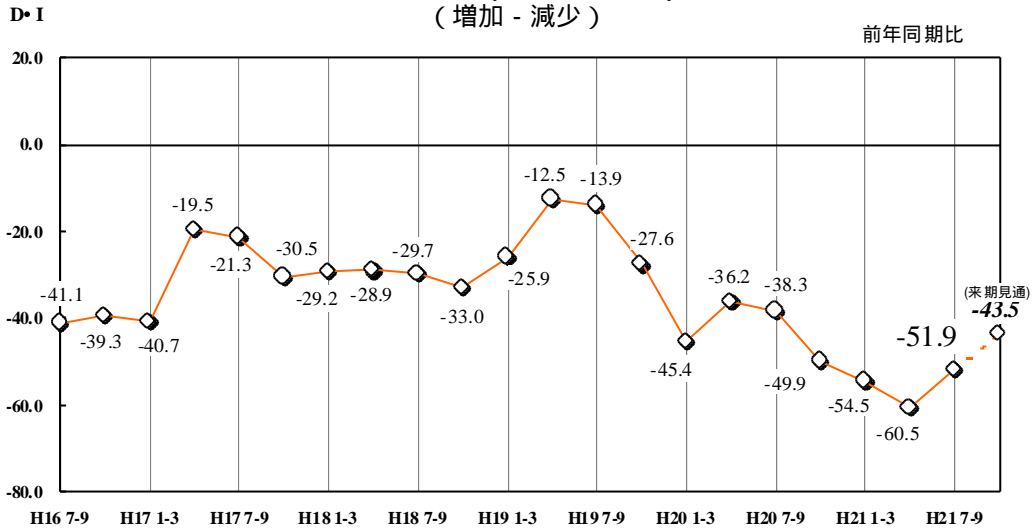
その他（D・I値）

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	27.6	26.9	22.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.2	15.9 (今期比)
短期 "	-----	4.7	7.9 (今期比)
商品在庫数量	27.6	-----	21.5 (前年同期比)

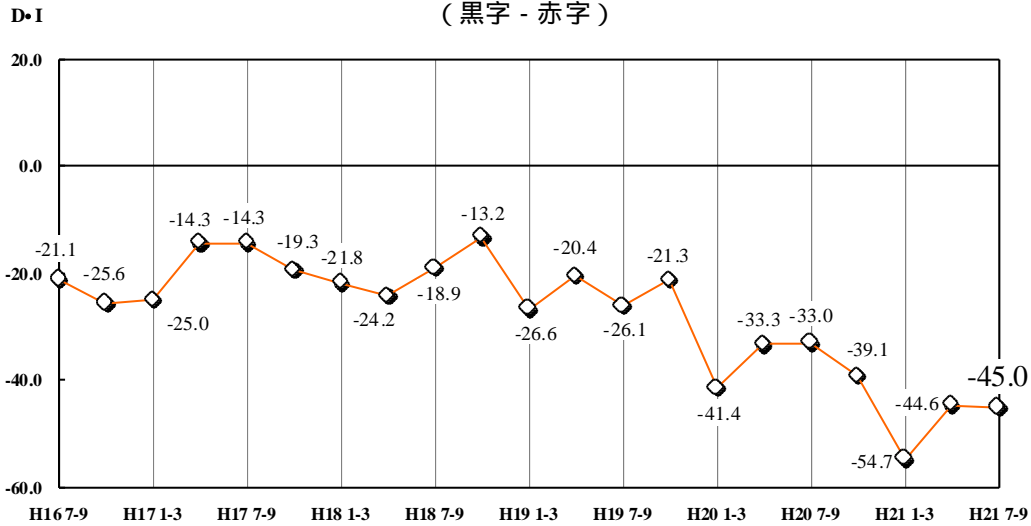
(4) 小 売 業



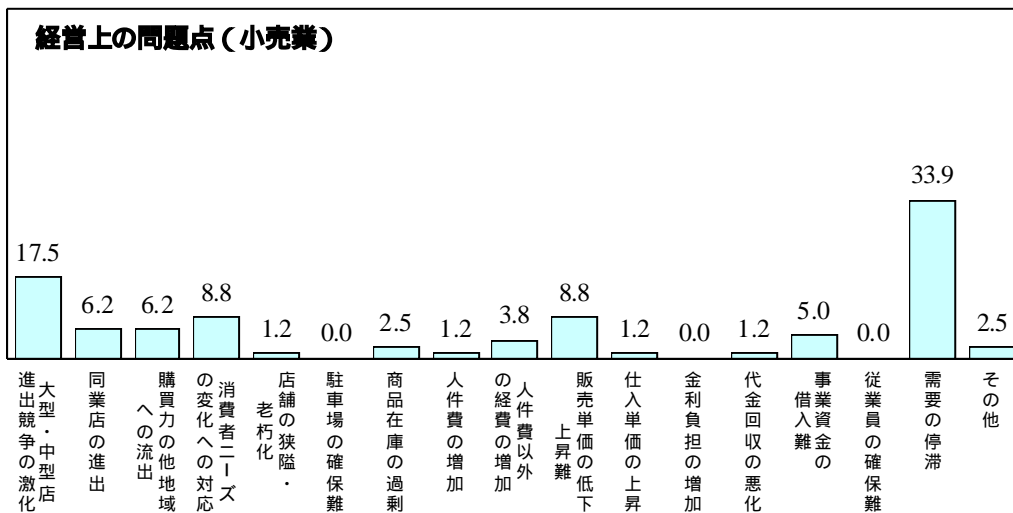
売上高(小売業D・I)
(増加 - 減少)



採算(小売業D・I)
(黒字 - 赤字)



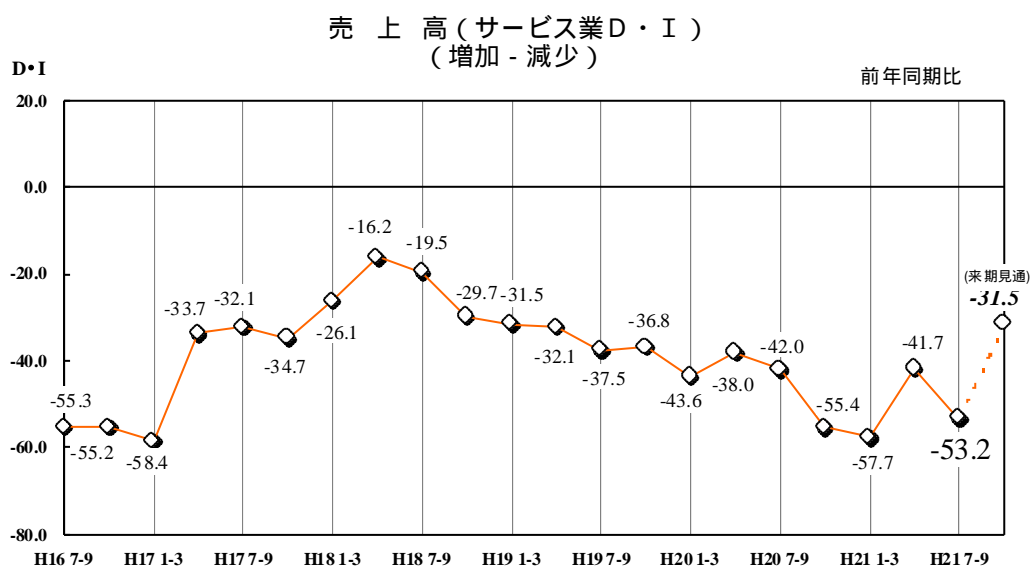
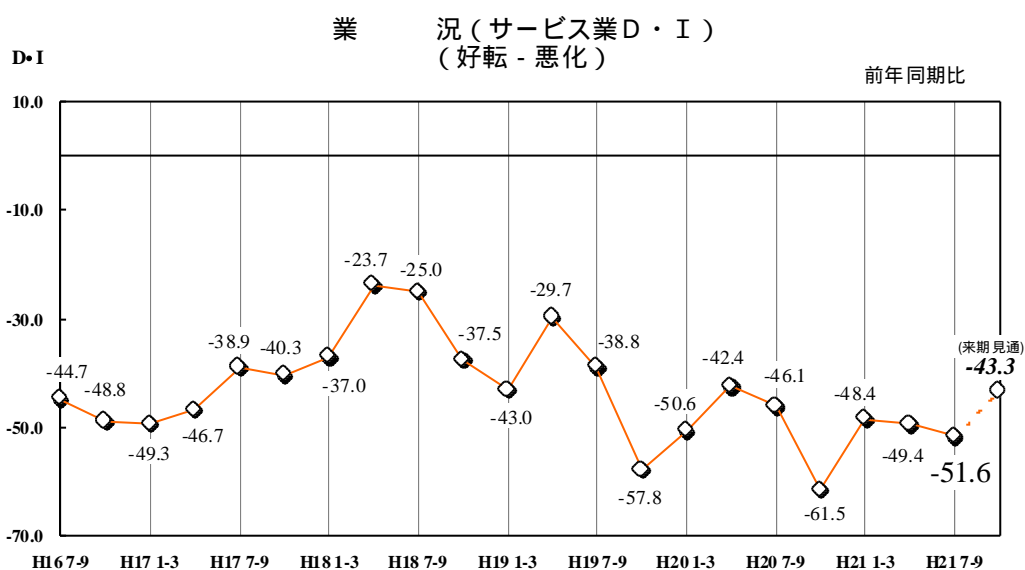
経営上の問題点

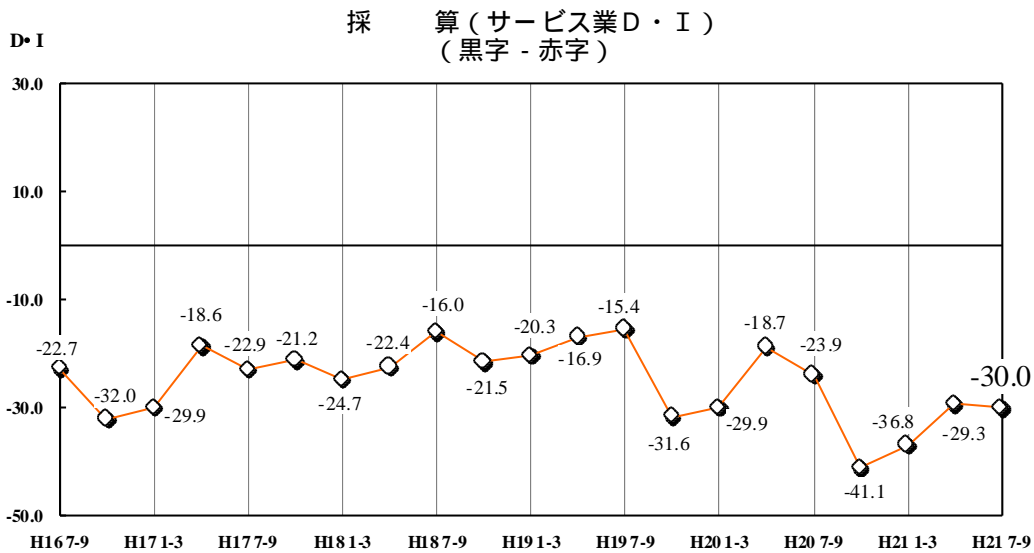


その他 (D・I値)

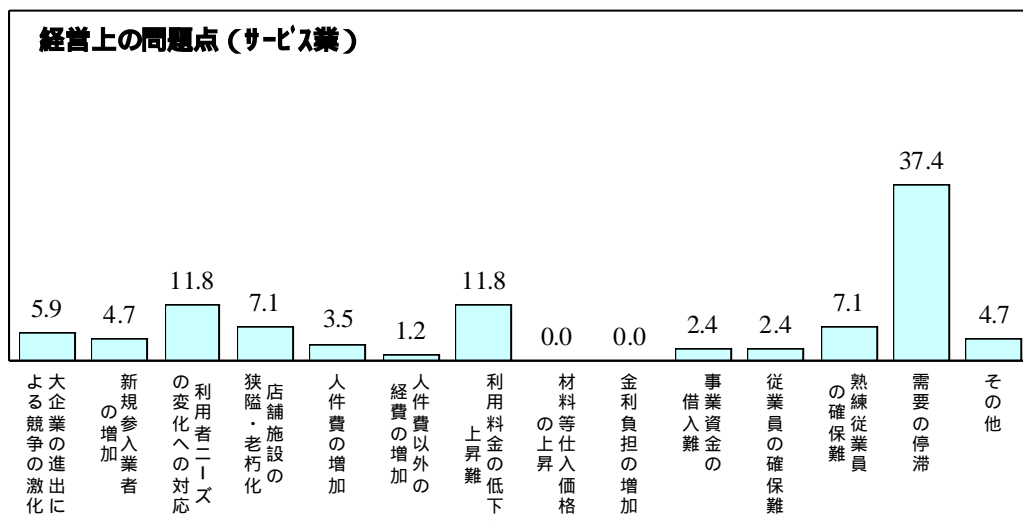
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	40.3	40.3	40.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	18.6	19.7 (今期比)
短期 //	-----	25.0	23.4 (今期比)
商品在庫数量	26.5	-----	31.7 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	39.1	32.5	37.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	26.3	32.9 (今期比)
短期 "	-----	19.7	27.6 (今期比)
利 用 客 数	46.1	42.5	38.3 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成21年7月～9月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	11.7	28.3	60.0	-48.3
生産に対する原材料在庫	3.5	93.0	3.5	0.0
売上に對する製品在庫	3.7	92.6	3.7	0.0
採算(経常利益)	16.7	48.3	35.0	-18.3
引合	13.3	33.3	53.4	-40.1
生産設備	10.3	82.8	6.9	3.4
従業員(含臨時・パート)	15.3	79.6	5.1	10.2

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年7月～9月)に比べて				前期(平成21年4月～6月)に比べて				前年同期(平成20年7月～9月)と比べた 来期(平成21年10月～12月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	前	D・I	前	年	同	D・I
A 売上(加工)額	15.0	23.3	61.7	-46.7	20.3	33.9	45.8	-25.5	8.6	41.4	50.0	-41.4
B 売上(加工)単価	5.3	63.1	31.6	-26.3	1.8	78.6	19.6	-17.8	1.8	64.3	33.9	-32.1
C 売上(加工)数量	15.5	22.4	62.1	-46.6	22.8	40.4	36.8	-14.0	10.5	36.8	52.7	-42.2
D 資金繰り	6.8	55.9	37.3	-30.5	3.4	69.5	27.1	-23.7	5.2	58.6	36.2	-31.0
E 輸出額	0.0	88.9	11.1	-11.1					0.0	90.0	10.0	-10.0
F 原材料仕入単価	22.8	68.4	8.8	14.0					18.5	72.2	9.3	9.2
G 原材料在庫数量	3.6	71.4	25.0	-21.4					1.9	74.0	24.1	-22.2
H 製品在庫数量	1.9	71.2	26.9	-25.0					2.0	74.0	24.0	-22.0
I 採算(経常利益)	11.9	35.6	52.5	-40.6					8.8	43.9	47.3	-38.5
J 従業員(含臨時・パート)	8.6	70.7	20.7	-12.1					5.4	73.2	21.4	-16.0
K 外部人材(請負・派遣)	4.0	80.0	16.0	-12.0					4.0	80.0	16.0	-12.0
L 設備稼働率	8.6	44.8	46.6	-38.0					7.1	48.3	44.6	-37.5
M 引合	15.3	37.3	47.4	-32.1								
N 受注残	3.6	47.3	49.1	-45.5								
	6.8	39.0	54.2	-47.4	10.5	52.7	36.8	-26.3	10.9	47.3	41.8	-30.9
O 業況(自社)	前年同期(平成20年7月～9月)に比べて				前期(平成21年4月～6月)に比べて				今期(平成21年7月～9月)と比べた 来期(平成21年10月～12月)の見通し			
P 受取手形期間					0.0	100.0	0.0	0.0	2.6	97.4	0.0	2.6
Q 長期資金借入難度					9.1	80.0	10.9	-1.8	7.3	81.8	10.9	-3.6
R 短期資金借入難度(含手形割引)					9.4	81.2	9.4	0.0	7.5	85.0	7.5	0.0
S 借入金利率					7.4	87.0	5.6	1.8	3.7	92.6	3.7	0.0

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	16.7	10.0	10.0	60.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	83.3
来期	6.7	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	93.3

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.6	7.1
新規参入業者の増加	1.8	3.6
製品ニーズの変化への対応	12.5	21.4
生産設備の不足・老朽化	1.8	10.7
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	7.1	23.2
原材料の不足	1.8	1.8
人件費の増加	3.6	12.5
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.8	14.3
製品(加工)単価の低下・上昇難	8.9	55.4
金利負担の増加	0.0	7.1
取引条件の悪化	3.6	12.5
事業資金の借入難	1.8	10.7
従業員確保の確保難	1.8	3.6
熟練技術者の確保難	1.8	3.6
需要の停滞	46.3	71.4
その他	1.8	1.8

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成21年7月～9月)の水準			D・I
	▲	▲	▲	
業況(自社)	11.3	39.4	49.3	-38.0
採算(経常利益)	8.5	50.7	40.8	-32.3
引合	7.9	39.7	52.4	-44.5
従業員(含臨時・パート)	9.9	70.4	19.7	-9.8

▲：良い、過剰、黒字、活発
 -：ふつう、適正、収支トントン
 ▼：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年7月～9月)に比べて				前期(平成21年4月～6月)に比べて				前年同期(平成20年7月～9月)と比べた 来期(平成21年10月～12月)の見通し			
	▲	▲	▲	D・I	▲	▲	▲	D・I	▲	▲	▲	D・I
A 完成工事(請負工事)額	14.1	32.4	53.5	-39.4	25.4	42.2	32.4	-7.0	12.7	38.0	49.3	-36.6
B 資金繰り	4.4	63.2	32.4	-28.0	2.9	73.9	23.2	-20.3	7.2	63.8	29.0	-21.8
C 受注(新規契約工事)額	18.6	37.1	44.3	-25.7					12.9	47.1	40.0	-27.1
D 材料仕入単価	27.9	61.8	10.3	17.6					20.9	68.7	10.4	10.5
E 採算(経常利益)	5.7	44.3	50.0	-44.3					5.7	50.0	44.3	-38.6
F 従業員(含臨時・パート)	4.3	78.3	17.4	-13.1					2.9	84.1	13.0	-10.1
G 外部人材(請負・派遣)	6.6	68.8	24.6	-18.0					6.6	73.7	19.7	-13.1
H 引合	8.2	42.6	49.2	-41.0								
I 契約残(未消化工事高)	7.7	44.6	47.7	-40.0								
J 業況(自社)	14.1	40.8	45.1	-31.0	14.1	53.5	32.4	-18.3	11.4	47.2	41.4	-30.0
					前期(平成21年4月～6月)に比べて				今期(平成21年7月～9月)と比べた 来期(平成21年10月～12月)の見通し			
K 受取手形期間					2.1	97.9	0.0	2.1	11.3	57.7	31.0	-19.7
L 長期資金借入難度					4.7	73.4	21.9	-17.2	2.1	97.9	0.0	2.1
M 短期資金借入難度(含手形割引)					8.3	73.4	18.3	-10.0	4.7	75.0	20.3	-15.6
N 借入金					12.3	80.0	7.7	4.6	8.3	71.7	20.0	-11.7
									9.4	84.3	6.3	3.1

▲：増加 ▲：上昇 ▲：好転 ▲：長期化 ▲：容易
 -：不変(A, C, F, G, H, I) -：不変(D, N) -：不変(B, E, J) -：不変(K) -：不変(L, M)
 ▼：減少 ▼：低下 ▼：悪化 ▼：短期化 ▼：困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	その他	
今期	9.9	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	90.1
来期	4.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	95.7

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	2.9	11.6
新規参入業者の増加	1.4	11.6
材料単価の上昇	1.4	10.1
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	4.3
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	7.2
請負単価の低下・上昇難	35.2	68.1
下請単価の上昇	0.0	0.0
金利負担の増加	0.0	4.3
取引条件の悪化	4.3	20.3
事業資金の借入難	1.4	4.3
従業員の確保難	1.4	4.3
熟練技術者の確保難	1.4	2.9
下請業者の確保難	0.0	1.4
官公需要の停滞	21.7	50.7
民間需要の停滞	27.5	71.0
その他	1.4	4.3

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成21年7月~9月)の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業況(自社)	5.7	42.9	51.4	-45.7
売上に対する商品在庫	17.1	80.0	2.9	14.2
採算(経常利益)	13.0	55.1	31.9	-18.9
引合	4.4	42.6	53.0	-48.6
従業員(含臨時・パート)	4.4	85.3	10.3	-5.9

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↘ : ふつう、適正、収支トントン
 ↙ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年7月~9月)に比べて				前期(平成21年4月~6月)に比べて				前年同期(平成20年7月~9月)と比べた 来期(平成21年10月~12月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 売上額	10.0	24.3	65.7	-55.7	26.1	31.9	42.0	-15.9	11.3	36.6	52.1	-40.8
B 売上単価	8.6	51.4	40.0	-31.4	11.6	62.3	26.1	-14.5	12.7	56.3	31.0	-18.3
C 資金繰り	4.3	63.8	31.9	-27.6	3.0	67.1	29.9	-26.9	4.3	68.6	27.1	-22.8
D 商品仕入単価	22.9	48.5	28.6	-5.7					22.5	59.2	18.3	4.2
E 商品仕入数量	7.1	41.4	51.5	-44.4					8.6	48.5	42.9	-34.3
F 商品在庫数量	10.1	52.2	37.7	-27.6					7.1	64.3	28.6	-21.5
G 採算(経常利益)	5.7	47.2	47.1	-41.4					5.6	52.1	42.3	-36.7
H 従業員(含臨時・パート)	4.5	71.6	23.9	-19.4					2.9	83.9	13.2	-10.3
I 外部人材(請負・派遣)	0.0	88.9	11.1	-11.1					2.1	89.4	8.5	-6.4
J 引合	10.1	42.0	47.9	-37.8								
	7.2	37.7	55.1	-47.9	12.9	45.7	41.4	-28.5	11.4	48.6	40.0	-28.6
K 業況(自社)	前年同期(平成20年7月~9月)に比べて				前期(平成21年4月~6月)に比べて				今期(平成21年7月~9月)と比べた 来期(平成21年10月~12月)の見通し			
L 受取手形期間					4.0	96.0	0.0	4.0	3.9	96.1	0.0	3.9
M 長期資金借入難度					4.8	76.2	19.0	-14.2	6.3	71.5	22.2	-15.9
N 短期資金借入難度(含手形割引)					4.8	85.7	9.5	-4.7	4.8	82.5	12.7	-7.9
O 借入金					7.7	83.1	9.2	-1.5	4.6	89.2	6.2	-1.6

↗ : 増加
 ↘ : 減少
 ↙ : 減少
 ↗ : 上昇
 ↘ : 低下
 ↙ : 低下
 ↗ : 好転
 ↘ : 悪化
 ↙ : 悪化
 ↗ : 長期化
 ↘ : 短期化
 ↙ : 容易
 ↘ : 困難
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 - : 不変(B, D, O)
 - : 不変(C, G, K)
 - : 不変(L)
 - : 不変(M, N)

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	店舗	倉庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	8.5	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	91.5
来期	11.3	25.0	12.5	0.0	50.0	12.5	50.0	0.0	12.5	88.7

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	1.5	3.0
メーカーの進出による競争の激化	3.0	9.1
小売業の進出による競争の激化	4.5	13.6
新規参入業者の増加	0.0	7.6
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1.5	3.0
商品在庫の過剰	4.5	10.6
人件費の増加	1.5	6.1
人件費以外の経費の増加	0.0	9.1
販売単価の低下・上昇難	12.1	47.0
仕入単価の上昇	1.5	19.7
金利負担の増加	0.0	3.0
代金回収の悪化	4.5	18.2
事業資金の借入難	1.5	6.1
従業員の確保難	0.0	1.5
需要の停滞	62.4	83.3
その他	1.5	4.5

